

事業名	中小企業支援事業
-----	----------

総事業費	1,117 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	企業支援

② 実施 (Do)

事業の意図	安定・向上する。	
事業の実績 と成果	取組内容	中小企業団体中央会に負担金納付、特定中小企業者の認定（セーフティーネット保証制度）作業、商工業振興利子補給補助金の公募と補助金処理などは商工会と連携、金融機関にも周知して、市内中小企業を支援する業務を行った。
	成 果	商工業振興利子補給補助金交付件数 18件 986,200円

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	商工業振興利子補給補助金の支給件数が令和4年度に比べて倍近くの件数があったことから県からの融資等を受けている方が多くなっていることがわかる。予算等も含めて事業検討をする必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	売り上げ機会は増加しているが、それ以上にコストの増加要因が増えている中、今後も借入による経営が見込まれる。 事業継続に向けては本補助金等を活用するとともに、商工会・関係団体と連携した適切な支援策と、きめ細やかな支援を行う必要がある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	利子補給補助金について、引き続き周知・広報に努めるとともに、関係団体と連携し、経営改善による資金繰り等に対する支援を検討する。
-----------	---

事業名	創業支援事業	総事業費	1,268 千円
-----	--------	------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	企業支援

② 実施 (Do)

事業の意図	①創業の支援する ②経営力の強化を支援する	
事業の実績 と成果	取組内容	商工会や金融機関と連携した創業支援ネットワークにより、創業希望者に対して創業スクールを開催。あわせて、小学生を対象とした企業体験をする教室を実施した。
	成 果	創業者数3件（創業スクール参加者10名、小学生起業体験参加者10名）

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	・創業スクールへの参加希望者の確保。 ・創業支援ネットワークが1回しか実施できておらず、市内の経済状況を把握するためにも随時開催し、情報共有に努める必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	商工会を中心とし、創業支援事業計画に基づき、経営指導、ビジネススキル研修、経営力向上セミナー等の創業支援を行った。 今後の展望を考慮し、さらになる金融機関等との連携を図りながら支援を行いたい。 新たな取組として、次世代への起業等への意識醸成にも取り組む。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	創業ネットワークによる関係団体や金融機関との連携を図りながら創業セミナーやを実施するが、起業後の事業継続に向けたセミナー等への展開も検討する。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	創業スクールチラシ

事業名	セーフティネット支援金事業
-----	---------------

総事業費	4,900 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	企業支援

② 実施 (Do)

事業の意図	事業者支援	
事業の実績 と成果	取組内容	社会情勢の変化による突発的・特殊的な要因に起因して、経営が急激に悪化するなど大幅に売上が減少し、事業の持続に困っている市内の中小企業及び小規模事業者を支援するため支援金を支給する。
	成 果	申請事業者13件 支給金額4,900千円

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	当初想定していた申請者数を超える申請があった。今後の実施においては予算設定を慎重に行う必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	社会情勢の変化による突発的・特殊的な要因に起因して、経営が急激に悪化するなど大幅に売上が減少し、事業の持続に困っている市内の中小企業及び小規模事業者を支援するため支援金を支給する。 本年度は、申請事業者13件 支給金額4,900千円と想定していた10事業者4,000千円を超えた実績だった。 今後、更に経済状況が悪化していく中、次年度以降も厳しい経営を強いられる事業者は増加する可能性もある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	昨年度、想定される申請件数を超える件数が来たことから予算編成も含めてより良い支給の仕方や要件等を見直す必要がある。
-----------	---

事業名	中小企業者等特別支援事業
-----	--------------

総事業費	2,487 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	企業支援

② 実施 (Do)

事業の意図		事業者支援
事業の実績 と成果	取組内容	長期化する原油価格や物価高騰の影響により、事業所得が減少し事業の持続に困っている市内の中小企業及び小規模事業者を救済するため支援金を支給する。
	成 果	申請件数17件 支給金額2,487千円

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	当初、想定していた申請件数より少ない結果となった。経費削減の意識からか前年と比較して所得が減少している対象事業者が少なかった。また、決算期等の期間設定にも課題があった。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	長期化する原油価格や物価高騰の影響により、事業所得が減少し事業の持続に困っている市内の中小企業及び小規模事業者を救済するため支援金を支給する。 実績は、申請件数17件 支給金額2,487千円となり、想定していた状況と大きく違った。原因は、収益状況の改善もあるが、9月まで増加していたエネルギー等の数値が大幅に低下したことで、想定コストの上積みが少なかったことがあげられる。一方で、コスト拡大が予想され、多くの不安の声がある中で、制度構築する必要はあった。今年度に入り、再度、エネルギー高騰、円安拡大、原料高騰が叫ばれる中で、先の見通しの難しさを感じることもある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	事業予定なし
-----------	--------

事業名	地域経済活性化プレミアム付商品券発行事業
-----	----------------------

総事業費	47,166 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	企業支援

② 実施 (Do)

事業の意図	①支援する ②応援する	
事業の実績 と成果	取組内容	・エネルギー・食料品等の物価高騰の影響に対する経済対策として、プレミアム率40%の商品券を販売した。 (販売期間) R5.10.21～R5.12.2 (使用期間) R5.10.21～R6.1.31 (発行総額) 154,000千円
	成 果	(商品券) 換金率：99.07% 商店街の活性化のみならず、域内消費の活性化につながった。 市商工会への加入促進にもつながった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	公平な販売等
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	物価高騰等、課題解決の手段として取り組みを行った。2億以上の資金が動くことで、一定の経済効果は得られた。一方で、消費者視点ということにおいては、各校区での丁寧な販売を心掛けたが、売れ残りを回避するための最終的な販売において、購入できない等の不満を聞くことがあった。 より、経済的、消費者救済の両視点での効果を高めるため、検討を重ねる必要がある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	事業予定なし
-----------	--------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	プレミアム付き商品券